

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第206号

〔2024年10月1日発〕

令和6年度成人発達障害支援学会

発達障害医療研究所 所長 太田晴久

成人発達障害支援学会は、加藤進昌先生が理事長を務め、昭和大学が事務局を担当する学会です。2024年9月7日から8日にかけて、大阪国際交流センターにて第11回成人発達障害支援学会が開催されました（大会長：安田由華先生、実行委員長：橋本亮太先生）。大会のテーマは「病態理解に基づく成人発達障害の治療と支援」であり、発達障害に対する適切な治療と支援のためには、その病態を正確に理解することが不可欠であると強調されました。本大会には、医師や心理士、精神保健福祉士などの医療従事者のみならず、教育や福祉、就労支援に携わる幅広い職種の専門家が参加しました。参加者数は過去最多の400名に達し、ワークショップには100名を超える参加者が集まるなど、大変盛況な大会となりました。学会への参加者の数が年々増えており、成人期における発達障害への関心の高さを強く感じられました。



理事会企画のシンポジウムでは、「成人発達障害と親なき後」がテーマに取り上げられました。これは、デイケアに所属する五十嵐が代表としてAMEDから委託された3年間の研究成果を公表する場となり、親なき後に対応するために開発した自立促進プログラムやアセスメントツールが紹介されました。本研究にご協力いただいた皆様に、この場を借りて心より感謝申し上げます。このシンポジウムでは、当事者の方も登壇され、私にとって自立とは、『「自分が主人公の人生」を歩むこと』という発言が多くの聴講者の心に響いたように感じました。

教育講演では、加藤進昌先生が「大人の発達障害～専門外来を開いて17年～」というテーマで講演されました。豊富な臨床経験にもとづき、発達障害と似て異なる人々について言及され、昨今の過剰診断について警鐘を鳴らされました。その他にも、浜松医科大学の山末先生、名古屋大学の尾崎先生、東京農業大学の中澤先生といった著名な先生方から発達障害の病態について最先端の研究成果が共有されまし

た。さらに、基調講演として奈良県立医科大学の岡田俊先生、大阪地域のシンポジウムでは多くのシンポジストからの講演をお聞きして、非常に学びの多い時間となりました。

2025年度の成人発達障害支援学会は、東京で開催される予定です。日時は2025年10月11日（土）・12日（日）、会場は千代田区の一橋講堂です。発達障害の支援を考える上で、我々がデイケアなどで実践しているピアサポート（同じ困りごとを持った人同士の支え合い）は不可欠と考えています。また、特性が生涯持続する発達障害では、若年者の就労の課題に加えて、発達障害を持つ夫婦関係、親なき後の生活など、若年から中高年に至るまで、生涯にわたる切れ目ない支援を実現していく必要があります。これは医療や福祉のみでは実現困難で、ピアとの協働をはじめとした社会全体で取り組むべき課題だろうと思います。そのため、学会のテーマを「Care with Peers～生涯にわたる支援」としました。大阪大会に引き続き、東京大会も面白い大会にするつもりです。ぜひご参加ください！

新入職員 自己紹介

◇ 臨床薬理研究所 橋本 雅裕

「66歳の新入職員 橋本 雅裕」

私は今年の4月に臨床薬理研究所に事務補助員として入職しました。前職はサンリオに43年間勤務し、営業で全国を回りました。

医療とのかかわりは、59歳で中咽頭癌を罹患し、科学放射線療法で治療するも63歳で再発。手術により咽頭摘出をし、声を失いましたが命を拾いました。爾来、「今度」と「いつか」はあてにしないと、毎日を一生懸命に生きています。研究所での仕事は門外漢の私にはハードルが高いですが、研究所長の小林真一先生の「勉強会」で知識を得ながら、何とかくらくらしています。お世話になった医療の世界への恩返しと日々奮闘中です。医療の世界も日進月歩。自らも日々精進したいと思っています。

◇ リハビリテーションセンター 本田 健司

8月より、リハビリテーションセンターで勤務しております本田健司と申します。

9年前より、センターの書道クラブでお手伝いをさせていただいておりましたが、この度、事務補助員として採用していただきました。書道クラブに参加される皆さんと穏やかで心休まる時間を過ごしていただける様、先生、スタッフ方と共に精進してまいります。

好きな言葉は「桜梅桃李（おうばいとうり）」です。

どうぞよろしくお願いいたします。

※桜梅桃李の意味：それぞれオンリーワンの花を咲かせるように、他人と比べることなく、自分自身のオンリーワンを磨くこと。自分らしく個性を活かすこと。



◇ 事務課 医事係 石原 雄一

令和6年9月1日より烏山病院、事務課医事係にて勤務することになりました石原雄一と申します。前職ではコンビニエンスストアを運営する仕事に長く勤めておりました。

医療の世界は関りがなかったこともあり、日々初めて聞く用語に囲まれながら業務についておりますが、なんとか食らいついて一日も早くお力になれるように頑張っております。
これからよろしくお願い致します。

あかね会ロビーコンサート

あかね会 会長 天野実千代

8月25日(日)の午後、外来待合室でロビーコンサートを開催しました。五年ぶりの開催でしたが60名を超える人々が集まり、高い吹き抜けに吸い込まれるように響く楽器の音色、優しい歌声に聴き入り、夏の暑さと多忙な日常生活で疲れた心を癒すことができました。

一部ではプロの音楽家によるヴァイオリンとアイリッシュユーハーブの演奏です。千歳烏山に在住の小池彩夏さんと村上栄子さんによる本格的なクラシックの演奏です。「パガニーニカンタービレ」「モーツァルトの子守歌」を含む全8曲の演奏と歌声で聴衆を魅了しました。

「バッハ無伴奏ヴァイオリンソナタ」は、ヴァイオリンの哀愁ある音色と力強さが心の奥まで染みわたりました。また「カノン・ななつの子」は、村上さんの編曲による千歳烏山ならではの楽曲で、童謡「七つの子」の旋律に目頭が熱くなってきました。

二部では、地域で活躍するライアー演奏の佐藤有喜さんと、フルートのレイ文子さん電子オルガンの村さんの演奏です。ライアーの音色は優しく深く透明で心に響きます。音楽療法にも使われる楽器と

のこと、佐藤さんはジブリ映画の「千と千尋の神隠し」の主題歌「いつも何度でも」他2曲を透明な歌声と共に聴かせてくれました。フルートと電子オルガンの演奏も、ロビーコンサート始めて以来の初のお目見えです。懐かしい名曲、唱歌もみんなで歌うことが出来ました。最後の演奏曲「上を向いて歩こう」は、参加の皆さんにエールを送る曲となり、歌詞カードは無くてもそっと口ずさむ人が多くいらっしゃいました。「本格的な生演奏を聴く機会があって、皆で歌えて・・・不思議と心の底から力が湧いてきた」と多くの感想がアンケートにも、その後の電話やメールでも寄せられています。

今回のコンサートでは、烏山病院の職員さん・事務課の係長さんをはじめ警備員さん・世田谷区ピアサポーターに登録している「ピアパレット」の皆さん、そして世田谷ボランティア協会ボランティアさんにもご協力いただきました。

皆様の「優しい心のハーモニー」で素敵な心温まるコンサートを開催することができました。

ご来場の皆様・ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました 🍀



デイケア活動

K.O さん

デイケアでは、参加者の皆様へ栄養科の方から食事を提供してもらっています。基本的には「米飯・汁物・総菜」の三種類なのですが、たまに「主食・デザート」の献立が出る時があります。デイケアで昼食をお願いする時は、デイケアの出席簿に食事欄があるので、そこに 10 時 30 分までに“○”を記入し、11 時 30 分から 2 階の食堂——便宜上こう呼ばせていただきます——に行くのですが、近年はコロナウイルスの影響から手洗いを義務付けられています。食事の取り置きは 12 時 30 分までなのでそれまでに取りに行かなければなりません。個人的には 11 時 30 分を多少過ぎてからのほうが、食事をとる人がまばらになってくるので気楽な雰囲気です。



デイケアの好きな昼食メニューアンケートによると、私も含めて油淋鶏を推す人が多かったです。個人の感想としては、油淋鶏はぬるくなってもおいしく食べられること、見た目のきれいさ、たれの味付け等がプラスの印象です。(K.O)

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～金曜日・8時30分～14時

土曜日 8時30分～12時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《8月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,427(8,583) 6,455(7,023)

◇一日平均患者数 271.8(279.6) 248.3(270.1)

◆診療実日数 31(31) 26(25)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページの QR コードとなります。



【編集後記】

10 月に入り、厳しい残暑がまだ続いています。朝晩は過ごしやすくなりました。そろそろ秋服の出番でしょうか。9 月 1 日の「防災の日」に続き、10 月 13 日は国連が定めた「国際防災の日」とされています。国際的な協調を通じて一致した防災行動を取ることで、地震、風水害、土砂崩れ、火山噴火、森林火災、干ばつ、その他の自然災害の被害から、人命や健康、暮らしを守ることをアピールする日となっています。今年に入ってから、地震、台風、ゲリラ豪雨などの自然災害が多発している日本に住む私たちも、災害の備えについて、身近な大切な人々と見直してみたいと思います。

(広報委員 當重)

